

北海道地方 12月の天候

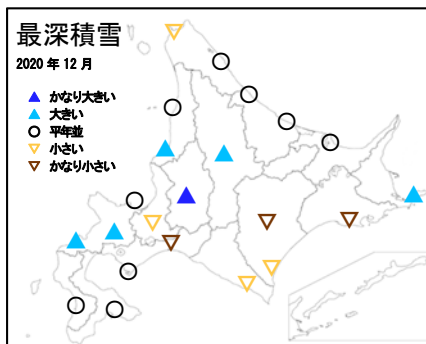
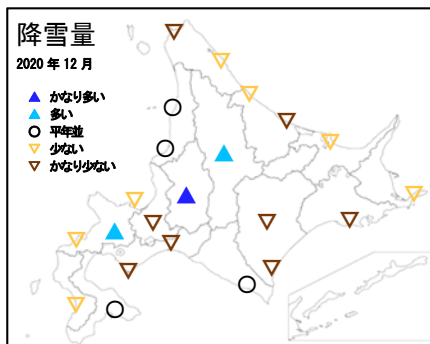
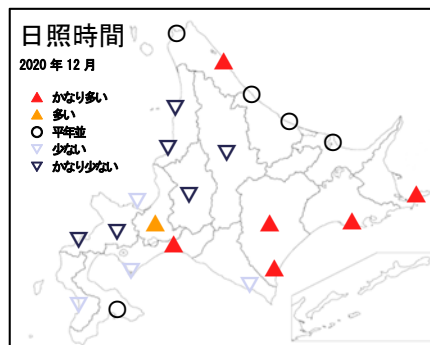
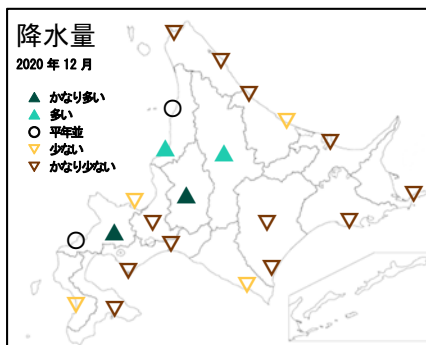
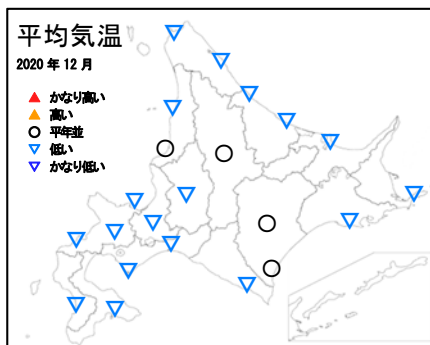
概況

— 冬型の気圧配置の影響が続き、日本海側は局地的に大雪、太平洋側は記録的少雪 —

12月上旬は冬型の気圧配置の影響で、日本海側を中心に雪の降った日が多く、1日は空知地方で局地的に大雪となった所があった。中旬以降は、冬型の気圧配置が続き、断続的に強い寒気が流れ込んだ影響で日本海側では局地的に降雪量が多くなった。31日は強い寒気が流れ込み、上川地方を中心に最低気温が氷点下30度を下回り、道内の各地で12月としての最低気温の極値を更新した。また、太平洋側では月を通して晴れた日が多く、月降水量の少ない方からの極値を更新した所があった。

気温は中旬と下旬は平年より低く、月平均気温も低かった。降水量は上旬は平年よりかなり少なく、中旬は少なく、月降水量はかなり少なかった。日照時間は下旬は平年より少なく、月間日照時間も少なかった。降雪量は上旬と中旬は平年より少なく、月降雪量はかなり少なかった。なお、1946年の統計開始以降、太平洋側の月降水量は最も少なかった。

階級分布図



月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.8	-	67	--	92	-	69	--
日本海側	-0.7	-	107	0	69	--	95	0
オホーツク海側	-1.1	-	54	--	111	+	67	-
太平洋側	-0.6	-	24	--	112	++	37	--

注) ・数値は、地域内の气象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

旬の統計値（地域平均）

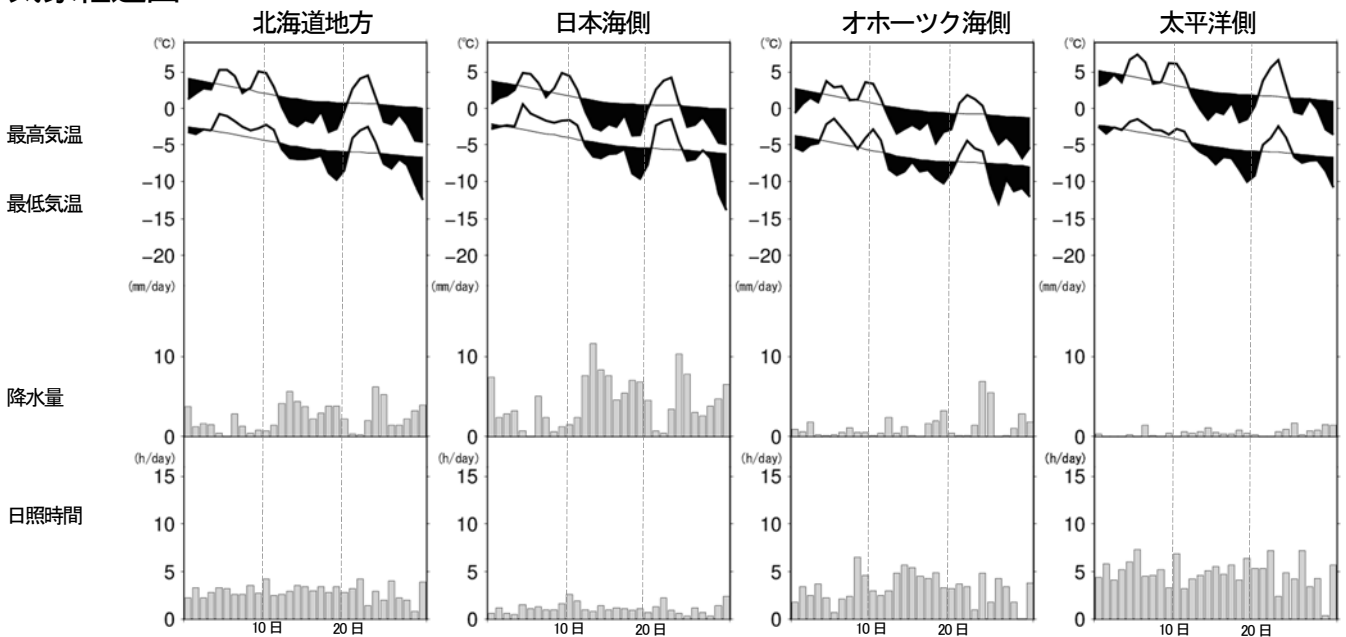
上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.4	0	38	--	87	0	35	-
日本海側	+0.6	0	65	-	60	-	58	-
オホーツク海側	+0.1	0	22	--	101	0	42	-
太平洋側	+0.3	0	12	--	115	+	3	--

中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-1.7	-	82	-	105	0	72	-
日本海側	-1.8	-	140	++	82	0	116	0
オホーツク海側	-1.5	-	53	-	137	++	61	-
太平洋側	-1.6	-	24	-	118	++	22	--

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-1.0	-	79	0	85	-	84	0
日本海側	-1.0	-	112	+	65	-	100	0
オホーツク海側	-1.7	-	88	0	95	0	87	0
太平洋側	-0.6	0	34	-	105	0	62	-

注) ・数値は、地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
 ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1981～2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

気象経過図



日別の天気概況

上旬

- 1～4日：冬型の気圧配置の影響で、太平洋側東部では概ね晴れたが、日本海側を中心に雪の降った所が多かった。
1日は空知地方で局地的に大雪となった所があった。日降雪量は1日に岩見沢市5条で51cmなど。
- 5～6日：高気圧の張り出しの中で、太平洋側では晴れた所が多かったが、日本海側やオホーツク海側は広い範囲で曇り、雪の降った所もあった。
- 7日：気圧の谷の影響で日本海側や太平洋側西部を中心に雪の降った所が多かった。
- 8日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側を中心に雪の降った所が多く、太平洋側東部では概ね晴れた。
- 9日：高気圧の張り出しの中で、太平洋側東部やオホーツク海側では晴れた所が多かったが、気圧の谷の接近により日本海側では雪の降った所があった。
- 10日：気圧の谷の影響により、日本海側や太平洋側西部では雪または雨が降ったが、オホーツク海側と太平洋側東部では晴れた所が多かった。

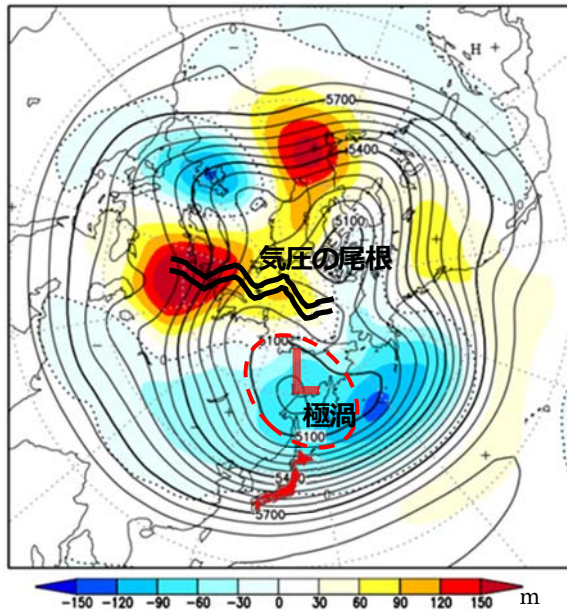
中旬

- 11日：低気圧を含む気圧の谷の影響で、日本海側を中心に雪または雨が降ったが、太平洋側では晴れた所が多かった。
- 12日：低気圧を含む気圧の谷の影響で、雪または雨の降った所が多かった。
- 13日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側やオホーツク海側では雪の降った所が多く、太平洋側東部では概ね晴れた。
- 14～19日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側や太平洋側西部では雪が降り、オホーツク海側や太平洋側東部では概ね晴れた。
- 20日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側では雪が降り、太平洋側では概ね晴れた。

下旬

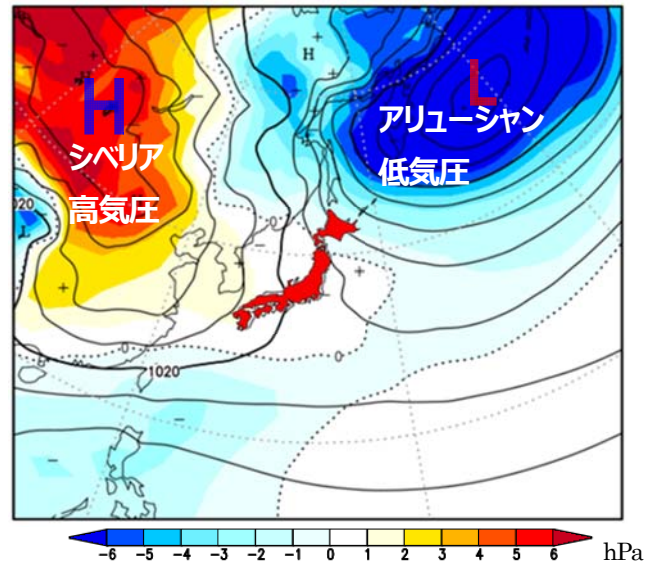
- 21日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側では雪が降り、太平洋側東部では概ね晴れた。
- 22日：はじめ冬型の気圧配置の影響で、日本海側は曇りで雪の降った所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となって、太平洋側とオホーツク海側では晴れた所が多かった。
- 23日：高気圧の張り出しの中で、太平洋側では晴れた所が多かったが、気圧の谷の接近に伴い日本海側では雪の降った所があった。
- 24日：前線を伴った低気圧の通過により広い範囲で雪または雨が降った。
- 25日：気圧の谷の通過やその後の冬型の気圧配置の影響で、日本海側を中心に雪が降ったが、太平洋側東部やオホーツク海側では晴れた所が多かった。
- 26日：冬型の気圧配置の影響で、広い範囲で雪が降り、大荒れの天気となった所もあった。
- 27日：はじめ冬型の気圧配置の影響で日本海側では雪が降ったが、次第に高気圧の張り出しの中となって、太平洋側を中心に晴れた。
- 28日：気圧の谷の影響で広い範囲で曇り、雪の降った所もあった。
- 29日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側や太平洋側西部では雪が降り、太平洋側東部では概ね晴れた。
- 30日：気圧の谷の通過により広い範囲で曇り、雪の降った所が多かった。
- 31日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側では雪の降った所が多く、太平洋側やオホーツク海側では晴れた所が多かった。

12月の大気の流れと地上天気図の特徴



北半球の月平均 500hPa 高度と年間偏差
(年間値は 1981～2010 年の平均値)

実線は 500hPa 高度 (m)、着色は年間偏差 (m)。年間偏差が暖 (寒) 色の領域は年間より高度が高 (低) く、一般に暖 (寒) 気に覆われやすい。上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている所で偏西風が蛇行しており、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強い。



日本付近の月平均海面気圧と年間偏差
(年間値は 1981～2010 年の平均値)

実線は等圧線 (hPa)、着色は年間偏差 (hPa)。年間偏差の暖 (寒) 色は、年間より気圧が高 (低) い領域。寒色の領域では、年間より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

500hPa (上空約 5500m) 天気図

北極付近は気圧の尾根となり、オホーツク海付近に極渦が偏在しやすい負の北極振動が卓越したため、北海道付近には強い寒気が流れ込みやすかった。

地上天気図

シベリア高気圧が年間より強く、アリューシャン低気圧も年間より勢力が強かったため、北海道付近の冬型の気圧配置は年間より強かった。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
稚内	-3.1	-1.1	-	68.0	60	--	30.6	102	0	91	160	--	23	43	-
北見枝幸	-4.1	-1.1	-	59.0	55	--	100.8	137	++	129	161	-	46	54	0
羽幌	-2.2	-0.6	-	144.0	105	0	18.4	52	--	181	172	0	59	54	0
雄武	-4.3	-1.1	-	29.5	49	--	94.6	104	0	65	113	-	32	33	0
留萌	-1.8	-0.3	0	144.5	123	+	13.9	43	--	191	170	0	67	44	+
旭川	-4.3	0.0	0	133.0	138	+	42.2	70	--	199	189	+	70	56	+
網走	-3.6	-1.2	-	26.0	44	--	120.6	105	0	57	85	-	24	28	0
小樽	-2.0	-1.0	-	110.0	78	-	56.5	89	-	114	156	-	49	50	0
札幌	-1.6	-0.7	-	26.5	24	--	95.2	111	+	50	132	--	21	46	-
岩見沢	-3.3	-0.8	-	299.0	242	++	36.5	50	--	382	200	++	142	70	++
帯広	-3.2	+0.5	0	0.0	0	--	202.8	118	++	-	47	--	-	30	--
釧路	-2.5	-0.6	-	0.5	1	--	214.9	124	++	1	27	--	1	15	--
根室	-1.5	-1.0	-	12.0	24	--	188.6	129	++	22	36	-	20	13	+
寿都	-1.2	-1.1	-	113.5	94	0	17.9	61	--	97	121	-	42	31	+
室蘭	-0.2	-0.7	-	25.0	39	--	67.5	91	-	14	38	--	8	10	0
苫小牧	-2.1	-1.0	-	1.0	2	--	158.3	125	++	1	27	--	1	13	--
浦河	-0.8	-1.0	-	28.0	55	-	100.4	88	-	19	32	0	5	10	-
江差	0.7	-1.0	-	62.0	63	-	21.7	61	-	49	71	-	15	16	0
函館	-1.3	-1.3	-	49.5	58	--	89.4	96	0	84	86	0	26	23	0
倶知安	-4.0	-0.9	-	263.0	141	++	19.6	47	--	303	252	+	119	90	+
紋別	-3.4	-0.9	-	37.0	69	-	94.6	97	0	63	104	--	24	27	0
広尾	-1.1	+0.2	0	8.0	9	--	186.2	127	++	21	75	--	15	32	-

注) ・平年値は1981～2010年の30年間の平均値です。

・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。

・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981～2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年	
12月	月降水量(多い)	第1位	岩見沢	299.0 mm	242 %	241.0 mm (2011)	1946	
	月降水量(少ない)	第1位	札幌	26.5 mm	24 %	35.2 mm (1934)	1876	
			帯広	0.0 mm	0 %	5.3 mm (1934)	1892	
			釧路	0.5 mm	1 %	4.5 mm (1983)	1910	
			苫小牧	1.0 mm	2 %	15.8 mm (1966)	1942	
			広尾	8.0 mm	9 %	17.5 mm (1984)	1958	
			第2位	北見枝幸	59.0 mm	55 %	58.4 mm (1951)	1942
			室蘭	25.0 mm	39 %	19.2 mm (1934)	1923	
	月間日照時間(多い)	第1位	釧路	214.9 h	124 %	207.1 h (2002)	1910	
			根室	188.6 h	129 %	186.2 h (2001)	1890	
第2位			北見枝幸	100.8 h	137 %	104.6 h (2002)	1942	
苫小牧			158.3 h	125 %	160.2 h (1970)	1942		
第3位			帯広	202.8 h	118 %	218.3 h (2002)	1900	
広尾	186.2 h	127 %	189.2 h (2002)	1958				
月間日照時間(少ない)	第1位	岩見沢	36.5 h	50 %	40.3 h (1977)	1946		
降雪の深さ月合計値(多い)	第3位	岩見沢	382 cm	191 %	453 cm (2002)	1953		
月最深積雪(大きい)	第1位	岩見沢	142 cm	203 %	129 cm (2011)	1946		

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先 札幌管区气象台気象防災部 地球環境・海洋課
TEL (011) 611-6174